

「事業名：営農再開地域における先進的なオーガニック作物生産技術の開発」 2020年度事業の概要

東京農工大学 連携市町村：富岡町、浜通り市町村
現地拠点：双葉郡富岡町さくらモール(1階 とみおかプラス)

事業のポイント

- (1) スマート農業による食用、酒米水稻品種の先進的なオーガニック生産技術開発・普及と人材育成
- (2) 浜通りの農業復興、農業振興のためのオーガニック食用米、酒米の商品開発
- (3) 浜通りの農業復興、農業振興のための浜通り米、日本酒のマーケティングと販売企画

2020年度の活動内容

東京農工大学、富岡町及び近隣市町村、(一社)とみおかプラスや、他大学と連携して以下の取り組みを実施する。

- 先進的なオーガニック作物生産技術の開発・普及
有機栽培試験圃場における農工大育成水稻食用品種、酒米品種の浜通りにおける生産実証研究
水稻の有機育苗のための事前乾燥+温湯消毒技術、バイオ肥料施用技術、生物農薬の開発・普及
農地客土の肥沃化をめざした緑肥作物の栽培
- オーガニック作物生産を支援するスマート農業技術の開発・普及
ICTによる水管理システム、新型アイガモロボット、アクアドローンの産学連携による共同開発
- オーガニック食用米、酒米の商品開発
人気酒造(株)との純米大吟醸「桜福姫」、スパークリングライスワイン「Sakura Princess」
JR東日本企画との「アイガモロボット米」、「オーガニックライスボール」、「オーガニックコースト駅弁」
- 浜通り米、日本酒のマーケティングと販売企画
常磐線全線開通(20年3月)以降の浜通り沿線の駅キオスク、道の駅での販売、
東京オリンピック・パラリンピックでのマーケティング調査

取り組みによって得られる成果

- 富岡町、浜通り地域のスマート農業による先進的オーガニック作物の生産拠点化
- オーガニック作物を活用した高付加価値商品の開発
- 革新的な作物生産による研究者、技術者、農業後継者、新規就農者などの人材育成
- 「地」と「知」の好循環による農業復興、農業振興、地域の持続的発展

